

青ノリト云方言イトアラサト云フ

石尊 方言アラサ

海村所々ニアリ

石花菜 方言トコロテシダサ

雜太郡相川ノ海ニ多シ盛夏ノ時煉製シテ避暑ノ食トス

鹿角菜 方言フノリ

龍鬚菜 方言シラモ

二種共海村所々ニアリ又備荒ノ用ヲナスモノアマモ、スカモ、イシ
コリ、テツ、コテツ、ワニカヅラ、ナノリソ、カセカマ、ナトノ類多カ
ルベシ、ワカメト云フモノ益多シ、ツルモト云フモノハ觀ノ美ナル
ヲ以テ價ヒ貴シト雖モ糧食トナスニ足ラズ往年試ミタル事アリ
ケルニ海藻ヲ多食スレバ必ズ浮腫ノ患アリ只流水ニ一夜浸シテ
食セシ人ハ此患ヲ免レタリアラメノ屬ヒハ十餘年ノ久シキヲ經

テ味變セズ尤モ貯フヘシ、一種イゴト云フ海藻飢荒ノ備ニナルニ
キモノナレモ是モ流水ニ浸サレバ浮腫ノ患ヒヲナス事尤モ甚
シト云ヘリ

木耳 方言キクラケ

山中所々ニアリ香蕈ハ柯樹ニ生シ又ナヲノ木ニ生ズルナリ松茸
ハ八幡村ノアタリニ多シ蕈テ食スレバ毒ナシ、ハツタケハ品類多
シムキハツタケハ毒ナシ、秋ノハツタケハ似テ非ナルモノ也誤ル
ベカラズ竹耳ハ竹根ニ生ズ毒ナシ、石耳ハ深山ノ石上ニ生ス、其餘
シラハツタケ、ヘニタケ、ニキリタケ、ナド毒アリ食フベカラズ砂地
ニ生ズル黄タケアリ春ハ同シク松露アリ木ノ子ニ似テ毒ナシ食
シテ美ナリ

胡瓜 和名ホソチヌマクハ 方言チンミヤウ

雜太郡八幡村ニ栽ニ味南國ノ物ニ如ズ土人珍妙ト呼ビ他ノ名ア

ル事ヲ知ラズ珍妙トハ 順徳上皇名付ケ玉ヒシト云フイブカシ
水瓜 ス井クハ

雑太郡八幡村ニ栽ユ皮厚ク瓢少シ

葡萄 古名エビカヅラ 方言ブダウ

所々園中ニ栽ユ

嬰與 イヌエビ 方言スエビ 又クブダウロ

山野ニ生ズ葉ハ葡萄ニ似テ厚ク背ニ少シ毛アリ夏ニ至テ葉間ニ

穂ヲ出シ丸キ實ヲ結ブ南天燭子ノ大サニシテ初ノ色ハ録ニ熟ス

レハ黒シ

甘蔗 方言サトウキヒ

雑太郡新保加茂郡北方ニ栽レドモ甚ダ稀ナリ

蓮藕 和名ハチヌ

天竺蓮ト云フモノハ花形大ニシテ白色瓣邊一分計リ深紅色是ヲ

秘傳花鑑ニ錦邊蓮ト云フ又尋常ノ花ヨリ小サクシテ莖上ニ二三

四五花簇リ開キ千瓣ニシテ内ニ房ナキモノ和州當麻寺ヨリ出ツ

秘傳花鑑ニ品字蓮ハ一莖三花開ク其二花開クモノヲ集解ニ合歡

並頭ト云フ睡蓮ハヒツミクサ也蓮類ニアラズ小草也葉形橢ニシ

テ一ツノ切レ有リ其紋ハ蓮花ノ如シ葉ノ長サ二三寸花ハ大サ寸

餘白色四瓣ニシテ四重内ニ黄葉アリ其瓣細メ末尖リ水面ニ出テ

開ク日光ヲ受テ開キ夕ベニ萎ミ翌日又開四五日ノ後枯ル金蓮ハ

支寶 ヒシ

國仲菱池ト云フ所其外所々ニアリ海部ニテハ眞更川村山居ト云

フ所ノ池ニアリ根ハ水底ニ在テ葉ハ水面ニ叢生ズ形扁ニシテ蚊

蝶ノ翅ノ如ク厚クシテ光アリ其莖ヲクレテ蝦蟆ノ腹ノ如シ夏花

ヲ開キ實ヲ結ブ形三角四角或ハ兩角アリ其角皆尖リテ人ヲ刺ス

初ハ綠色秋ニ至リテ熟スレバ黑色トナル者ヲ白肉ヲトリ食フベシ

慈姑 和名クワ井

水田ニ生ズ所々ニアリ冬春ノ間根ヲトリテ煮食フ

木類

櫻 通名サクラ

數品アリ羽茂郡ニハ八重菊ノ花ニ似タルモツアリ土人深ク珍トス他ニ移セハ枯ル、ト云フ

李 和名スモ、

多ク有り青皮李ハ稀也俗ニ青スモ、ト云フモチスモ、ト云フモ、味勝レリ

杏 和名カラモ、 通名アンズ

李ニ比スレハ稍稀也

梅 和名ウメ

此國早梅ナシ正月花ヲ着ルモノヲ早シトス雪多ケレハナルベシ多クハ二月半ヲ過ギテ紅ナルモ白キモ一般ニ開クナリ只内外海部ニハタヘテ生育シ難シ直脚梅アリ綠萼梅アリ品字梅ノ類ナルベシ、サロント云フモノ多シ鴛鴦梅ニシテ八ツフサト云フモノアリ品類多シテ記スルニイトマアラズ

桃 和名モ、

紅アリ白アリ紅白交レルアリ緋花アリ澤根村ノ桃莊荒廢シテ後ハ其品半ヲ減ゼリ

栗 和名クリ

大中小ノ三品アリ民家ニ益多シ枋ノ子ハ民間ニ助ケアリ漢名天師栗ナルベシト蘭山翁語ラレタリ深山ニ多クアリ加茂郡ノ山民

穀ヲ去リ米粉ニ雜ヘ搗テ餅トス味苦シ山家ノ食ナリ木ハ机箱ニ作ルベシ

棗 和名ナツメ

家園ニ植ユ核大ニ肉少クシテ下品也

梨 和名ナシ

家園又ハ圃中ニ栽ユ水梨アリ青梨アリ松尾狐コロシハ俗間ノ方言ナルベシ

言ナルベシ

鹿梨 和名ヤマナシ

山中ニアリ春未ダ葉ヲ生ゼザルサキニ白花ヲ開クコト梨花ニ同

シ買ハ小サクシテ燂セザレバ食ハレズ

海紅 通名カイトウ

所々園中ニアリ垂絲海棠ハ稀也

榎櫛 方言クハリシ

楡棹

方言マルメル

二種トモ家園ニ栽レテ相混シテ詳カナラズ

林檎 方言リンゴ

州ノ東南ニ多シ加茂郡夷湊ヨリ舟ニ積テ買去ル也

柿 和名カキ

所々ニ多クアリ品類モ亦甚ダ多シ就中栗ノ江ト名付ルモノ殊ニ多シ栗ノ江村ヨリ出レバ也海南圃史ニ所謂方帶柿也又眞光寺村ヨリ出ルモノダラリト名付長サ三寸廣サ二寸計リ牛心柿ト云フモノナリ、レンゲ柿ト云フモノ形大ニシテ蒂ノ周リ肉高ク出テ圓坐シタル様也箸蓋柿ト云フモノ成ベシ羽茂郡ニ藤内柿アリツリ柿トナシテ奥州松前ニ送リ交易スト云フ又メ、柿ト云フアリ、ヤマカキトモイフ實小サクシテ數多ク生スル也猴棗ヲ云フニヤ交易スル時賤ムナリ

安石榴

ザクロ

此地ニアルハ花一重ニシテ淡紅ナルモノナリ多ク實ヲ結ブナリ
八重ノ花又黄白ナルハ見ル事ナシ

柑

和名カグノミ 方言ミカン

元ヨリ南國ノ物ナレバ此地ニハ稀也只羽茂本郷ノ内ニ栽テ繁茂
スル也然レ皮厚ク酸味多クシテ下品也形モ亦小サシ此外橘柑ノ
類事ヲ好ムモノ他邦ヨリ移シ栽ト雖モ多クハ育シ難シ只香橙ア
ルノミ

柚

和名ユ 方言ユズ

三郡トモニアリ海邊村々ニハ見ルコト少シ

枇杷

和名ビハ

三郡トモニアリ國仲ト云フアタリ最モ多シ

銀杏

和名ナ、ノキ 方言イチヤウ 實ヲギンナント云フ

樹ニ雌雄アリ實ヲ結ブモノ大野村ノアタリニ多シ

山胡桃

オニクルミ

山中往々ニアリ皆眞ノ胡桃ニ非ズト云ヘリ

榛

和名ハシハミ

鷺崎村ニ多シ

櫛

櫛ハカタキノ總名ナリ苦櫛ハ方言赤カシ麩櫛ハ方言白カシナリ
ト云ヘリ

椽

和名ツムハシ 方言ヨメノコキ

櫛

方言カシハキ

山中ニ多シ葉ノ大サ四寸計リ長サ六七寸花ハ栗ニ似タリ實ヲ結
ブモノアリト雖モ爰ニハ稀ナリ

榧

カヤ

三郡トモ山中ニアリ種類モ又少カラズ羽茂郡徳和村ニハ殊ニ多シ以テ若盤秤ニ作ルベシ實ハ岡村東光院ノ境内ニ出ルモノコ名産トス

椰子 通名ヤシホ

此國ノ産ニハアラズ唐土嶺南ノ國々ヨリ出ルモノ、流レ來ルヲ海濱ノ民拾ヒ得ルナリ

無花果 イチシク

小木也家園ニ植テ熟スルヲ採テ痲病ノ藥トス大和本艸ニ古イチシクト云フハ天仙果ノコトナリト云ヘリ

ツクハチ 雜太郡小倉村ニアリ小野蘭山云都念子ニアツル説アレヒ穩カナヲ又トゾ

齊墩果 方言シシヤノ木

枳椇 方言ケンボンナシ

秦椒 サンシヤウ

山中ニ多シ雄ヲ花サンシヤウト云ヒ雌ヲ實サンシヤウト云フ延喜式ニ此國ヨリ貢スル處ノ藥品ノ内蜀椒見ヘタリ今ノサンシヤウノ事ニヤ一種雌椒方言イヌサンシヤウハ食用ニタヘズ鹽麩子 ヌルテ ユリテ 又ゴマキ

葉ハ漆ニ似テ粗齒アリ兩對ス一葉ノ内節毎ニ直葉アリ漆ニ異ナリ秋ニ至テ早ク紅葉シテオツ夏枝毎ニ一尺計リノ穂ヲ生ズ枝又多クシテ細白花開ク數百千簇リテ漆ノ花ニ似タリ後實ヲ結ヒ下リ垂ル、ナリ實ノ形圓扁ニシテ漆ノ實ヨリ小サシ白粉アリ味鹹シ

山茱萸 方言グミ

藥園ニ植ユ一種ナカシロダミアリ秋グミナリ

茶

此國ニ茶ヲ作ル始メハ詳ナラズ羽茂本郷大谷ト云フ所ニ佳種ヲ傳ヘ栽ユト聞エシカイツノ頃ヨリカ、タエケン今村毎ニ作レ味イヤシクシテ喫ベカラズ加茂郡籠米村ヨリ出ルモノ稍勝レリ

松

黒赤ノ兩種アリ羽茂郡新倉山ヨリ出ルモノ文理常ニ異ナリ材ニ用ユルニハ栗野江村ヨリ出ルモノ佳ナリ三針ナルモノ四針ナルモノ稀ニ有ルヲ見ル皆ナ好メル人他ノ國ヨリ移シタルナリ

柏

扁柏側柏トモ昔ハ此國ニナカリシナリ今アルモノハ皆近キ世ニ他ノ國ヨリ移シ栽タルモノナリヒヤクシンハ國仲ト云アタリニアリ通雅ニ所謂刺柏成ルベシ八幡村邊ニ生籬ニスルモノハヒヤクシンニテ漢名矮檜ト云フモノニヤ樵ハイジレノ村ニモアリ中

杉

海部ト云フアタリノ山中ニ殊ニ多シイフキト云モノハ通雅ノニ色檜ニアタルト云フ爰ニアルモノハ多ク這イフキト云フモノ也赤白ノ兩種アリ赤ヲ尙フナリ羽茂郡川茂村加茂郡羽黒村ヨリ出ヅルモノ大船ノ檣ニ作ルベシ神代杉ト云フモノ物理不識ノ老杉也眞更川村山居ノ池其外國中ノ深田ヨリ出ヅル也器ニ作ルニ色淡黒ニシテ愛スベシ

月桂

方言ダモ

實ヲ結ブコト南天燭ヨリ大ヒナリ

木蘭

方言モクレンゲ

唐土ニハ花ノ白キアリ黄ナルアリト云フ此國ニアルハ紫ノミナ

辛荑

和名ヤマアラ、ギ 方言コフシ

山野ニ生ズ此國ニアルモノハ花白クシテ淡紅ノ條アルナリ紫コ
フシト云フハ未ダ見ズ

楠 方言ユヅリハ

深山ニ多シ

樟 和名クスノキ

甚稀也一種枸樟ハ山中ノ小木ナリ方言クロモシト云フ

山藥 方言キワダイバラ

山中ニ生ズ細刺多シ

漆 通名ウルシ

山村ニ多シ雜太郡小倉村ノ名産也船ヲ作ルニ用ユ甚ダ佳ナリト

云フ同郡小川村ノ産ハ膚木葉ニ似テ漆工ノ好マザル所アリ

桐 通名キリ

羽茂郡ニ多シ

柯樹 方言シイノキ

山中ニ多シ大木也加茂郡水津村ノ邊殊ニ多シ潤葉ナルモノ大葉

ナルモノアリ實ハ樾ノ實ヨリ小サシ小兒炒リ食スルニ味ヒ良ナ

リ同郡椎泊村ヨリ出ヅルモノ名産トス

槐 方言エンシユ

此國ニ産スル所ハカハラエンシユ也又山中自生ニカマスミアリ

莢莖也秋月實ヲ結フ南天燭ノ實ヨリ大ニ觀ツベキモノナリ山家

ノ小兒熟スルヲ待テ採リ食フ

合歡 和名子ブ 方言カウカノ木

山野自生多シ高サ二三尺ニ繁茂ス

無患子 方言モクロンシ

山野ニ自生多シ

柳

數品アリ藥トナスモノハ檉柳ノミ冬葉落ル事草ノ如シ瘞ヲ治ス
ルニ奇効アリト云フ

水楊 方言子コヤナギ

水邊ニ多ク生ズ小木也又イヤナギハコ柳アリカハラ柳ハ大木ナ

杖移 方言シヲノ木

羽茂郡新保村柳澤村邊ニ多シ化シテ石トナルト云フ又松楊ハ方

言ヂシヤノ木加茂郡ニセリノ木フナノ木デロノ木アリ大同小異

ナリ

桑 和名クハ

柘 和名ノクハ

二種トモ山野自生多シ

胡頹子 方言ダミ

品類甚ダ多シナワシログミ有リサワグミ有リカハラグミ有リ秋
グミハ食用ニ障ナシ

都李 方言コウメ

庭上ニ多ク植ユ小木也白花紅實觀ツベシ食フベシ

冬青 方言モナノ木

大木アリ又女貞ハ世ニチヅミモナト云フサカキ葉ニ似タリ

枸杞 通名クコ

刺多ヲ以テ籬トス又五加アリ和名ウコキ方言ニハチヅミサシト
云フ

石南 方言シヤクナゲ

深山ニ生ズ金北山ニ登ル人折來テ證トス

蔓荆 方言ハマコウ

海部村々ニ多シ

紫荆 方言ハナスワウ 又ツルムヲサキト云フ

庭上ニ植ルモノナリ

木槿 方言ムクケ

多ク籬ニ植ユ

柞木 方言ピンカ、

山中ニ生スル小木也又庭上ニ植ルモノ黄楊木アリ方言ヒメツケ

ト云フ土人採テ印材トス

接骨木 方言ニハトコ

山野ニ自生多シ

木天蓼 和名マタ、ビ 方言ワタ、ビ

深山ニ生ズル蔓艸也賤民採テ菜トシ又蠶トス

山茶

初冬開クモノ方言サ、ンカト云フ紅白二種アリ又俗ニイフツバ

キヲモ山茶ト云ヘツバキハ早晚ノ時候ニヨラズ花數百種アリ

小野蘭山翁記セシ所ノ二十四種土人井筒屋半次郎記セシ所ノ二

十八種アリ今記スルニ違アラズ

鼠刺木 方言子ヅミサシ

淺山ニアル子ヅミサシハ小木ナリ高サ一二尺ニ過キズ加茂郡真

更川村邊ニテ子ヅミサシト云フモノハ大木也一丈餘ノモノ多シ

家ヲ作ルニ材トスルモノアリ奇トスベシ

綿 方言ワタ

南國ノ産故古ヘヨリ此國ニ産セズ阿州ノ産ヲ頼ム也近年雜太郡

八幡畑野ノ村々ニ植テ益ヲ得ルコト多シト云フ一種野生ノ綿ヲ方

言パンヤト云フ雜太郡小倉村ニ多シ民未ダ其益アルコトヲ知ラザ

ルナルベシ

魚類

鯉魚ハ近年始メテ湖水ニ放テリ鱒魚ハ和名クチメ方言ホラト云フ
 素ヨリ湖水ニアリ又海ニモ何種アリ鱒魚ハ湖水ノ名産ナリ和名マ
 ナ方言大フナト云フ鱒魚ハ湖海ノ中程ニテ釣得ルヲ名物トス小ナ
 ルヲ和名セイゴト云ヒ大ナルモノヲス、キト云フ杜父魚流水ニ生
 ズ和名カシカ方言ベトカシカ只夜釣ノ餌トスルノミ又湖中ニウク
 井有リアマサギ有リ小魚ナリ溪鱒ハ方言アユ羽茂川ニ多シ鰻鱺魚
 ハ和名ウナギ流水中ニアレドモ至テ稀ナリ泥鰌ハ方言ドシマウ田
 中ノ泥ニ潜ム多ケレドモ賞味スル人少シ流水ニ一種ヤツメト云フ
 魚アリウナギノ類ニ似タレドモ味佳ナラズ又小鯽アリ小海老アリ
 鱒殘魚ハ鹹水相雜ルノ川ニ生ズ、シロウヲト云フ一種シラスト云フ
 モノ相混シテ辨シ難シ春月眞野川ニテ採ルモノ美ナリ加茂郡湖水
 ノ邊ニテトルモノハ形美ナレ味ヒ劣レリ

海魚ハ鯉魚ヲ以テ最上トス方言タヒ夏ハ味ヒ劣レリ春ノ半ニハ櫻
 鯛トテ價賤シ鱒ハ川鱒ヲ美トス海鱒ハ價賤シクシテ美味ナラズ、ヒ
 ラメハ比目魚ノ類ナリ大ナルモノヲサカムカヒト云フ小ナルモノ
 ラカレイト云フ春月甚ダ多シタラハ大口魚ナリ冬月ノ美味トス方
 言一種スケトウト云フモノ、タラニ似タリ聊小ナリ干物トナシテ他
 邦ニ送ルコト多シ又方言アラト云魚アリ、タラニ似テ劣レリ花鱒魚
 ハ方言アンコウ加茂郡梅津村ノ平澤トイフ所ノ名産ナリ松魚ハマ
 ンダヲカツヲ西濱ニアレモ甚ダ稀ナリ毒魚ハ方言オイヲ有リ大魚
 ナリ又河豚ノ毒最恐ルベシ腮ナク鱗ナク眼能開閉ス物ニ觸ルレバ
 瞋ルガ如ク肚腹最モ大也梁骨ニ傍ラ蝴蝶ノ形ナルモノ有リ誤テ食
 ヘバ立所ニ死ス猫犬食フモ亦然リ方言サバフクト稱スルモノ毒少
 シト云フ乾魚ニシテヒウチフクト云モノ加賀國ニ送テ産婦ノ食用
 トス尤小ナルモノヲ、イソフクト云フ又方言ハリフクハ魚虎ノ類ナ

魚虎ハハリセンボウトイフ方言アリハ西濱稻鯨村ノ名物ナリシ
ビシイヲハ海村所々ニテ漁スルナリ方言アヂハ雜太郡五十里本郷
海邊ノ名産ナリ又小サバ、フクラゲ有リ方言サヨリハ西濱ニテ漁ス
ルナリ方言コヲナゴ、ハ、イハシニ似テ細少也海村所々ニテ網ニカケ
テ賤民油ニ絞ルナリ夏至ノ後サンマ有リ方言バンシヤウト云フ冬
至前十日廿日ニシテハタ、トイフ魚アリ皆漁民ノ食トスルノミ
ナリ海鷄魚數品アリ西濱ノアカエヲ以テ最上トス東浦ノカスベ是
ニ亞グ此油正明ニシテ讀書ノ人眼精ヲ扶クトテ專ラ用フル也フク、
サメ、ワニ、相混ス品類尤多シ油ヲ取ルニハ大サ丈計ニ過ギズ鱈ヲ
トリテ長崎ニ送リテ交易スルニ金鱈銀鱈トイフ又一種カセワニト
云フ有リ異形ノ魚ナリ烏賊ハ方言イカ三品アリ多ク取ルモノハス
ルメイカ也稀ニ大ナルモノヲタルイカト云フコウイカ有リサイナ
ゴイカ有リスルメイカノ利ハ大概國用三分ノ一ニ當ルト云フ漁民

ノ是ヲ待コト大早ニ雲霓ヲ望ムガ如シ章魚ハ大中小有リ大ナルモ
ノ丈餘ニ及ブヲ人トリタコト云フ中ナルモノヲ捕ヘテ賣買スル也
小ナルモノハ食用ニアツクモタコ、オハナタコ、イヒタコト云フモノ
人ノ賞スル所ナリ海鰻ハ方言ウミエビナリ海蟹ハ品類甚ダ多キハ
海底ノ淺深ニヨルナルベシ海馬ハ方言タツノオトシコ西濱ノ二見
村ニ多シ身ノ長ケ一寸計リ赤色ナルモノ稀ナリト云フ小判魚トク
ヒレ、カ子タ、キ、ナドアリ無用ノ魚ナリ藻魚ノ類甚ダ多シ、ハチメ、ハ
マハチメ、コガ子ハチメナド有リアブラメ、ハ、ワタリアブラメ有リス
アブラメ、バクトウ、アリ方言シ、ウハ一名アイナメト云フ海參ハ異
名海男子イリコトナシ長崎ニ送リテ交易ス海豚方言イルカ海魚也
頭上ニ竅アリ俗ニシホフキト云フ長サ七八尺圍モ亦是ニ準ズ數十
群ヲナスヲ俗ニイルカノ神明參リト云フ胡獮アリ方言ト、又アシ
カトモ云フ加茂郡鷲崎ノ上ニト、鳥有リ群ヲナシテ能ク眠ル賦多

シ海豚ノ臑ト用テ同クス龜ハ海中ニ品類多シ瓊瑁ハ稀ナリ其最大ナルモノナリ方言シヤウガクボウト云フ緑毛龜ハ見タル人ナシ

介類

石決明ヲ最上トス方言アハヒ延喜式ニ鰓ノ字ヲ用ヒラレタリ眞珠アレヒ稀也拳螺ハ方言サ、イ牡蠣ハ和名カキ方言カキカヒ土人小兒ノ盜汗壯者ノ遺精ニ用ヒテ効有リ蚌ハ方言加茂郡カタガヒ羽茂郡トブカヒ湖中ニアルモノ形最大ナリ蜆ハ和名シ、ミ方言ス、メカヒ湖海泥川皆アリ湖中ノ物ハ形大ニシテ色黒シ海産ノモノハ黃黑色ニシテ味美ナリアサリハ絶テナシコマノツメ貝スダレ貝アリ沙海ノ産ナリ泥川ニ生ズルモノハ形味トモニ劣レリ馬九正名竹煙方言カミツ、貝沙海ニ生ズ文蛤ハハマグリ此國ニ絶テナシ江戸ニテ云フ所ノバカナルモノヲ假リニ、ハマグリト稱スルハ土人ノ言葉

也淡菜ハ方言イカヒ延喜式ニ胎貝ノ字ヲ用井ラレタリ六七月ノ頃味最美ナリ一種クロクチ貝ハ形似テ小ナリ四時トモ有リ食スルニタラズ石脚ハ方言セイ海岸石縫中ニ生ズ數十箇叢生ス暮春ノ後味ヒ美ナリ内外海部ニ最多シ形モ亦大也扁螺ハ方言シタ、ミ一種メクラシタ、ミ又方言ダメカヒ、シイノセガウ有リ食用ニタラズ田原方言タニシ又田中螺トモ云水田池澤泥中ニ多ク生ズ凶年飢饉ノ食トスベキモノナレドモ蕎麥又カラシト同シク食スル時ハ人ヲ害ス慎ムベシ胡麻ト同ク食フヲ禁ズ蝸蝓ハ和名ニナ方言ピンナ流水中ニ生ズルモノト海岸ニ生ズルモノニ種アリ流水ニ生ズルモノハ瘡瘡ノ目ニサスヲ治スルノ妙有リ海岸ニ生ズルモノハ方言ナントキト云フ小兒ノ癩癬ヲ催スモノヲ治スルノ効アリ羽茂郡ニテハ方言イツマデ貝ト云フ鸚鵡螺ハ稀ニアリ王螺方言アカニシ紅蝶方言蓼螺方言ニガニシ有リ寄居蟲ハ方言ガザモリ羽茂郡ニテハガニモリ

ト云フ紫貝紅貝郎君子方言スカイ三品トモ刀鞘ヲ粧フニ用ルノミ
タコノマクラ、タコフ子、サメノマモ、龍宮鷄海ヤナギナド皆無用ノ
物也

禽類

鴻鴈ハ何國ヨリイツクニ往カ知ルベカラズ鴈ヲ方言マガント云フ
鴻ヲ方言ヒシクヒト云フ鵠ヲ方言ハクテウト云フ稀ナリ鵠ヲ方言
ソガント云フ兔ヲ方言マガモト云フ皆秋ノ頃湖上田間ニ客居スル
モノ也種類甚ダ多シ方言小ガモ、タカホ、クロカモ、ヒツフリ、アシカモ
ス、カモ、アイサハ、土着スルモノ也燕モ春來リ秋去ルノ際人家梁上
ニ巢ヲ作り兒ヲ育メル也鶺鴒雀少也鶺鴒鶺鴒少シ秧鷄ハ和名シヒナ夏
ノ頃聲ノミ聞ナリ雉ハ春野ニ多シ蚊母鳥ト云フモノ享保ノ産物圖
説ニノセタレドモ疑ハシキコト有リ鷓鴣ハ方言カモメ甚ダ多シ鶴モ

稀ニ來ルノミ種類多シ鷹ハ所々ニ巢アリ又ハイタカアリ鷲ハ巢ア
ルコトヲ聞カズ鷹アレドモ鳥ノ多キニカズ蒼鷹アリ方言アササ
キ白鷹アリ朱鷹アリ方言トキ鷓鴣ガイツブリ翡翠方言カハセミ加
茂郡湖邊ニアリ鷓鴣ハ品類多シ方言マウトシロヲ以テ良トス鶺鴒方
言ミサゴ加茂郡海邊ニ多シ鶺鴒ハ方言フクロウ羽茂郡大谷ニシマフ
クロウ有リ鶺鴒方言ミ、ツク稀ニ有リ啄木鳥ハ方言ケラツ、キ羽
茂郡ニアリ鶺鴒方言ニハクナフリ加茂郡村々ニアリ小鳥ニハ巧婦
鳥ミソサ、イト云フシ、ウカラ、ホウシロ、ヒヨトリ、ヤマカラ、ナト有
リ、モズ、ハ羽茂村山村近邊ニアリ形ヲ見タル人ナシ、ウグヒス、ホト、
ギス聲ノミ聞テトリ得ルコト甚難シヒバリハ雜太郡二宮村ニ多シ

獸類

狸ハ方言ジフモンシ稀ナリ貉ハ方言ムダナ甚ダ多シ一種小ムシナ

アリ方言トシチボウ外海部村々ニ多シ鬼山中ニ多シ毛色夏コケ色ニシテ冬ハ白クナルト云フ鼯鼠和名イタチ人家ニ多シ野生ノモノハ加茂郡山村ニアリ取り得ルコト難シ鼯鼠方言ハツカ子ズミ人家ニソリ田鼠和名ウクホモチ方言ムクロ陸田ニ稀ニアリ海獺方言ウミカブロ加茂郡兩津邊ニアリ能人ヲタブラカス

蟲類

蛇類享保ノ産物圖説ニ五品ヲ出セリ今見ル所ヲアハセ考ルニアラロシ大小アリマムシハ蝮蛇ノ類トイヘリ猛毒ノ虫ナリ藥舖ニ出スヲ反鼻ト云フナメラアリ水邊ニ居テ害ヲナスツチムクアリアリクツハヘビアリ小ナルモノカナヘビアリトカケアリカラスヘビアリ毒多シトイフ稻ヲ害スル蟲螟類騰虫賊ノ外尚ホ多カルヘシ老農ニ問フヘシ

救荒畧説

文化中予物産ヲ記スル時老農某ナルモノアリ予彼レニ就テ問詢ルコトアリシニ老農難シテ曰此書記スル處博シトイヘドモ何ノ用ヲカナサン凶年飢歲民ノ飢ヲ免カルベキ物唯一種アリ信州ノ山民方言タツマト云フ此國ニモ山中キワメテ多シ長三四尺ノ小木ナリ長ズルモノ僅ニ四尺バカリ方言リヤウホウト云フ山野ニ多クアリテ人其採ルコトヲ厭ハズ毒ナシ志シアルモノ貯ハフル時ハ十年ヲ經テ朽ズ民ノ糧トナスベキ物是ニマサレルハナシ食スル時ハ人ヲシテ病ナカラシム其益少ナカラズト云ヘシ海藻山草ノ食シテ脾胃ヲ損スルタグヒニアラズ實ニ神仙ノ食ニ宛ツベキモノナリ予此言ヲ聞テ信州甲州ノ山民ニ問フニ果シテ其言ノ如シ予尊信ノ餘リ圖ヲ作リテ廣ク貧民ニ示ス毎村能ク語り傳ヘテ凶荒ノ備トナサハ死ヲ免ルノ良方ナリ

佐渡志卷之十五終

右佐渡志總十五卷附錄繪圖一卷葵園田中先生ノ編集スル所也先生
學和漢ヲ兼子博覽強記好シテ論語ヲ讀ム其人トナリ知ル可シ矣文
政年間國司泉本君幕府ニ申シ創メテ州學脩教館ヲ建テ子弟ヲ教育
シ先生ヲシテ學事ヲ領掌セシム此書ヤ文政年間稿ヲ草スト雖モ先
生府廳ニ從事スルヲ以テ未ダ其功ヲ竣ラス是ヲ筐中ニ委スル年ア
リ男藤木福穂先志ヲ繼キ弘化年間收録シテ二部トナシ一ハ脩教館
ニ納メ一ハコレヲ其家ニ藏ス明治六年政府草野有益ノ著書ヲ徵收
スルノ令アリ先生ノ孫田中美暢コレヲ政府ニ獻ス政府其功ヲ美シ
金五圓ヲ賜フ而シテ脩教館ニアル所モ亦文部省ニ收セラル今世ニ
傳播スル處誤寫ノ患アルヲ免レス山本敬之一本ヲ書寫其家ニ藏セ
ント欲ス余生徒授業ノ餘暇其勞ニ代リ明治十三年庚辰九月上澣筆
ヲ藤九樓ニ乘リ九月中澣功ヲ竣ラ因テ其原由ヲ後ニ記スト云爾

明治十三年十月十有六日

滄洲西邨允識



我國は北の海に僻在するの故に古より豪傑の士所謂る世に名ある者出でざりけれは椽大の筆力を振ひて古來のことおらるを記しむものなく國土の開け創まりける時より如何に成り行きけん文獻の徴すべきなくて心あらん人の常に憤慨することなるが余が先大人も常に心を爰に用ひたりしか明治八九年の頃先づこれが階梯として佐渡全國地租改正諸種一覽表の一小冊子を著し其後又佐渡全州地誌摘要を著して全國の高山名邑社寺人口及び地價金等の概を示して聊か世人を裨益せしむは諸人の知る所なり尋で佐渡志を印行し續々先賢の遺書にして世に埋没せしを顯はさんの志ありて全部五冊の中既に二冊は竣功せしかとも大人忽然易箚の變ありしより不肖長三自ら家政革新の任に當るべきを以て遂に遲延して今日に至れるは深く看官諸彦に謝する所なり然りと雖とも先人の遺

志之を灰滅に附するに忍びを繼くに大尾を以てするも不肖素より
學識に乏しく先人亦操觚の亞流に非を生來嘗て文筆に従事せしと
なければ二三の識者に依りて校訂の勞を屬せしむ多くの日子を假
さずして充分の力を延ばすこと能はざらむれば本書の誤謬ある
も亦よしあるなり況して原書の文たるや或は完成のものには非ト
かと思ふばかり事實を謬り假字用格を錯誤するの多きは言ふ迄も
なく体裁分類等も宜しきを缺きたる如く特に古蹟遷流の部の如
き物産の部の如きはあやまり多きものに似たり悉く之の訂正を加
へは反て原書の眞面目を失ふの恐れありてたほよそにしてやみぬ
然れども之を要するに本書たる我佐渡國にしては之を捨ては好書
なればは本書に世を益するも益せざるとは衆人の能く知る所なれ
ば今爰に贅言を費やせむん人心し賜へかし
又本書元は附圖一卷ありしかとも亡失して未だ余か手に入らず諸

方を探索して得るかまゝに印刷に附せん的心組みなり本書購讀の
諸君は其節復愛讀の榮を賜はらんを希望す明治二十二年十月二
十日本書印制の功を竣へ爰に一言して本書印行の來由を記すに
ん

齋藤長三謹言

版權所有

明治十七年十月三十日版權免許
明治廿二年十月廿五日印刷發行
明治卅二年六月三十日下卷再版

著者 故田中從太郎

編輯兼發行者 新潟縣佐渡郡相川町大字下京町七番戶
田中美暢

印刷者 齋藤活版印刷所
新潟縣佐渡郡二宮村大字石田八十四番戶

齋藤長三

壹部定價金八拾錢





Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

大正十四年三月十二日

小牧實繁



